

金城学院中学校

榊原 慎治 先生

「自分のレベルで運動を楽しむことが大切」と語る榊原先生は、
体育の授業を通してスポーツのすばらしさや
目標に向かい努力することの大切さを
日々生徒たちに教えていらっしゃいます。
また「小さなことでも実践することが大切」と
登校時のバス停に立ちながら、時に温かく時に厳しく指導し、
生徒たちの健やかな成長を見守っていらっしゃいます。



生涯、楽しく運動を続けられる
そのための授業を行っています

榊原慎治先生 / 1978年中京大学体育学部体育学科卒業。同年から体育教師として金城学院中学校で15年、高校で9年勤務。2003年から再び中学へ、体育教師の他に生徒課長として生徒たちの指導にあたる。

高校時代に出会った 先生の影響で体育教師に

幼い頃から、「先生」という職業に憧れを持っていました。保育園の時、小学校の時、どちらの先生も憧れとして印象に残っています。中学校の時には英語の先生が担任になり、その影響で「英語か、得意な社会か美術の先生になりたい」と思いました。実は美術は何度か展覧会に入選した経験もあるのです。しかし英語は英検3級までは取ったものの、やはり自分には向いていないと思いました。体育教師をめざすきっかけとなったのは、高校時代のサッカー部の顧問だった先生と出会ってからです。優しく厳しく温かく、素晴らしい先生で、「自分もこんな先生になれば」と本気で思うようになりました。大学時代に母校で教育実習を行ったのですが、この時もその先生のお宅でいろいろとご指導を仰ぎながら、指導案を書いたことをつい昨日のことのように覚えています。

その後、私が通っていた大学の理事長の奥様が金城学院の卒業生であったり、また金城学院の体育の先生の中に大学時代の先輩がみえたりと、さまざまな縁があって、金城学院中学校で教鞭をとらせていただくことになりました。以来約30年、体育の授業を通してたくさんの生徒たちとふれあいながら、とても充実した日々を過ごしています。

運動の楽しさを通して 生涯教育の基礎作りへ



私は授業で生徒に2つの目標を持つようにと話しています。1つは「体育を好きになる、あるいは嫌いになること」です。体育をどちらでもいいものとして考えるのではなく、「好き」「嫌い」と意識することで体を動かすことの重要性を知り、生涯体育へとつながっていくからです。もう1つは「自分のレベルで運動すること」です。私のかつての教え子の中に、運動が苦手な生徒がいました。しかしその生徒は苦手を克服しようと他のどの生徒よりも一生懸命努力をしていたので、成績をトップランクでつけました。本人もご両親も驚き、「何かの間違いでは？」といわれたのですが、私は「誰よりも努力をしていたその姿勢が一番素晴らしい。それを評価しました」とお話ししたのです。人には持って生まれた運動能力があり、努力をしても叶わないこともあります。しかし自分なりに目標を持ち、そこに至るまでの努力やモチベーションはとても大切で、そのことは十分に評価したいと思っています。そして最終的には自分のできる範囲で運動を楽しむことができるようになるのが一番いいと思っています。

人は、学校を卒業してから行う運動が本当の運動、すなわち生涯体育だと私は思います。テニスでもバレーでも、あるいはダンスや登山など何でもいから、大人になってからもずっと自分のペースで楽しく運動が続けられることが大切なのです。そのために今、体育の授業を通して運動能力や体を動かす楽しさをしっかりと身につけてほしいと思います。

私は学生時代にずっとサッカーを



榎原先生とサッカー部創立メンバー

してきた経験もあり、1994年から高校のサッカー部の顧問を務めました。ちょうどこの頃から女子サッカーが注目されるようになり、生徒たちからも「サッカーをやりたい!」という声が上がったので「それならみんなでやろう!」とクラブを立ち上げ、中学校でサッカーをやってきた生徒たちが高校でも頑張り、サッカー部として認められました。中学校のサッカー同好会も今年になってから部として認められ、現在は中学校・白井先生、高校・黒澤先生のご指導のもとで中・高一緒に練習に励んでいます。

今は生徒課長として、生徒指導も行っています。以前、ノーベル平和賞を受賞されたケニアの環境副大臣、ワンガリ・マータイさんが来校され、「小さなことでも粘り強くやることが重要」というお話をされました。私は朝の登校時にバス停に立って生徒指導を行っていますが、注意をすれば生徒たちはみな素直に聞き入れてくれます。マータイさんのおっしゃる通り、こうした小さな積み重ねが、学院の生徒たちをいい方向へ導くことができると信じています。また学校だけではなく、保護者の方の協力も仰ぎながら今後も生徒たちの健やかな成長を見守っていきたく願っています。

榎原先生はどんな人!?

先生が顧問を務める生徒会とハーブアンサンプル部の皆さんに、榎原先生の印象について尋ねました。すると「すぐおもしろくて楽しい先生!」と元気な声が返ってきました。また「ソフトボール部の練習の時にノックする姿がかっこよかった」という、体育の先生ならではのエピソードも。誰からも慕われるさわやかなお人柄がうかがえました。